

プレスリリース

このリリースに関する連絡先:

広報担当アシスタントマネージャー
中尾 友加
03 6271 9400
yuka.nakao@bakermckenzie.com

ベーカー&マッケンジー、サントリーによるビーム社の買収において 125億米ドルの融資を実施した三菱東京UFJ銀行に法的アドバイスを提供

【東京発 2014年5月15日】ベーカー&マッケンジー法律事務所（外国法共同事業）（所在地：東京都港区、代表パートナー：武藤佳昭）は、サントリーホールディングス株式会社（以下、「サントリー」）によるニューヨーク証券取引所上場のプレミアムスピリッツメーカーであるBeam Inc.（以下、「ビーム社」）の全発行済株式の取得に際し、株式会社三菱東京UFJ銀行（以下、「三菱東京UFJ銀行」）がサントリーに対して125億米ドルの融資枠設定を行った案件において、同銀行に法的アドバイスを提供いたしましたので、お知らせいたします。2014年4月30日（アメリカ中部標準時間、日本時間2014年5月1日）、サントリーは約158億米ドルでのビーム社の買収を完了しました。

本取引により、サントリーは世界第三位のプレミアムスピリッツメーカーとなり、ビーム社の社名は「ビーム サントリー」（Beam Suntory Inc.）に変更されました。サントリー酒類株式会社のスピリッツ事業は、年内にビーム サントリーに統合される予定です。

ベーカー&マッケンジー法律事務所では、ギャビン・ラフテリーおよび北村辰一郎をリード・パートナーとし、鷹取康久、和田卓也が本案件に携わりました。

ギャビン・ラフテリーは、「日本企業による海外企業の買収としては過去最大級となる本案件において、三菱東京UFJ銀行に法的支援を提供できたことを大変喜ばしく思います」と述べています。

また、北村辰一郎は、「本案件では、クロスボーダー買収ファイナンス案件における弊事務所の経験を大いに活かすことができました」とコメントしています。

ベーカー&マッケンジーについて

ベーカー&マッケンジーは、47カ国に75オフィス、4,100名を超える弁護士とその他のプロフェッショナル及びスタッフ6,000名を擁する国際法律事務所です。1949年の設立以来、各国の言語及びビジネス環境に対する深い理解に基づく高品質のサービスを提供する法律事務所として知られています。2013年6月30日決算期における収入は、24億1,900万米ドルを超えました。ファームのエグゼクティブ・コミッティのチェアマンは、エデュアルド・レイテイが務めています。

www.bakermckenzie.com

ベーカー&マッケンジー法律事務所（外国法共同事業）は、ベーカー&マッケンジーの東京事務所として1972年に開設されました。日本法に関する卓越した知識、経験とともに、グローバル・ビジネスに関する実績とノウハウを兼ね備えた外国法共同事業を営む法律事務所として、日本最大級の規模を有しています。当事務所は、ベーカー&マッケンジーのメンバーファームとして、国内外の金融法務、M&A、企業法務、独占禁止法、大型プロジェクト、知的財産、国際税務、訴訟・仲裁、労務、環境、製薬、不動産関連等について、総合的かつ専門的な法務サービスを提供しています。

www.bakermckenzie.co.jp

ベーカー&マッケンジー法律事務所（外国法共同事業）は、各国に所在するオフィスをメンバーファームとするスイス法上の組織体であるベーカー&マッケンジー インターナショナルのメンバーファームです。専門的知識に基づくサービスを提供する組織体において共通して使用されている用語例に従い、「パートナー」とは、法律事務所におけるパートナーである者またはこれと同等の者を指します。同じく、「オフィス」とは、かかるいずれかの法律事務所のオフィスを指します。